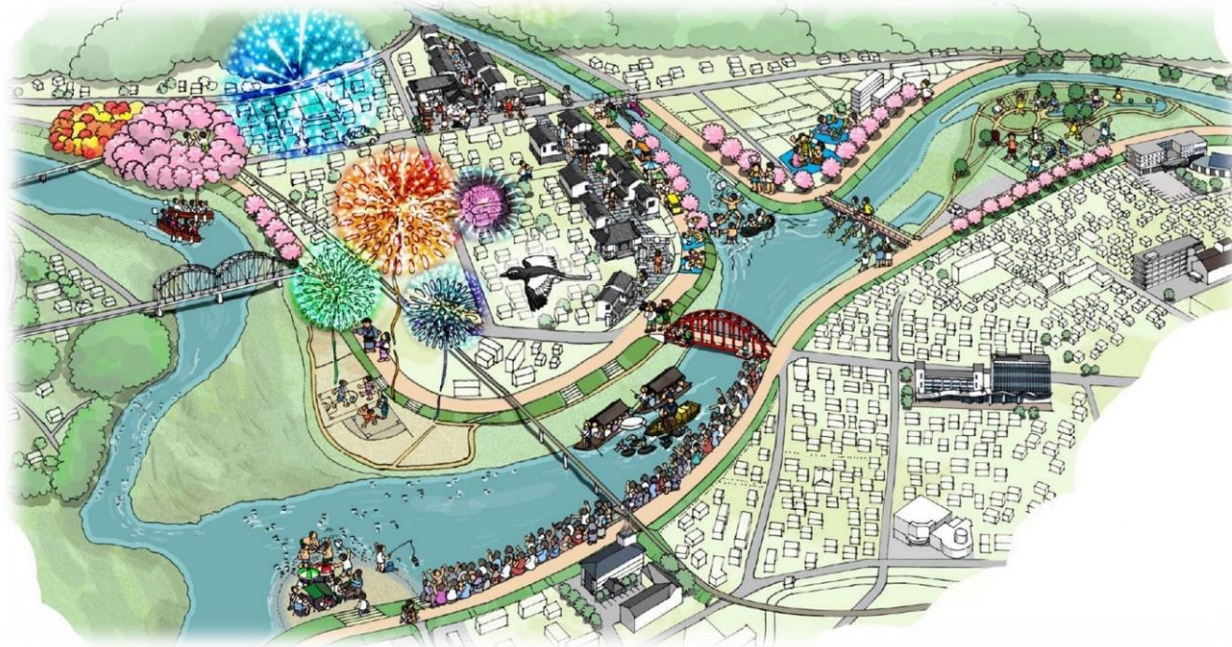


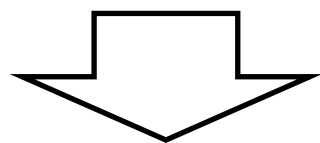
# 寺戸桜づつみ 植栽計画



平成30年11月5日 三次市都市建築課

# 寺戸桜づつみ整備の背景

- ・三次市の花「桜」。尾関山公園をはじめ全国に誇る桜の名所がある。
- ・巴なす三川合流部は三次ならではの景観。
- ・市の施策「花の里づくり(桜など)による美しいまちづくりの推進」の実現。



「三次市三川合流部周辺河川環境整備計画  
第2次重点プロジェクト」(三次市・平成29年1月)

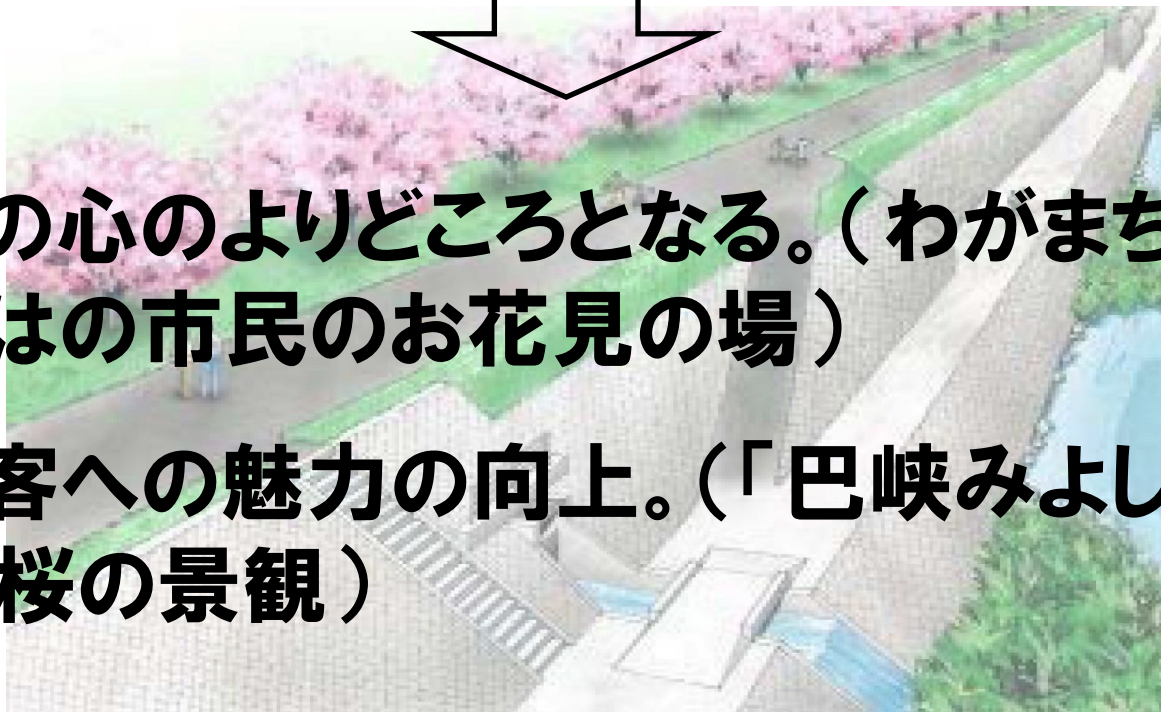
**三川合流部を桜で囲う  
「三次ならではの」の景観づくり**

# 寺戸桜つつみ整備の目的

三川合流部を桜で囲う  
「三次ならではの」の景観づくり



- ・市民の心のよりどころとなる。(わがまち三次ならではの市民のお花見の場)
- ・観光客への魅力の向上。(「巴峡みよし」ならではの桜の景観)





# 寺戸桜づつみ計画地



**桜づつみの延長 約220m**

# 寺戸桜づつみ計画地



尾関山の展望台から見た計画地



# 尾関山公園の桜

■尾関山公園全体の桜の本数・・・約540本

■主な内訳(7割がソメイヨシノ)



ソメイヨシノ 68%



ヤエザクラ(関山、一葉など) 15%



エドヒガン(枝垂桜含む) 10%



ヤマザクラ 6%

# 寺戸桜づつみのメイン品種

## ■品種選びのポイント

- ①尾関山(桜土手含む)のソメイヨシノと同時期に咲かないと三川合流部の一体的な桜の演出にならない。(遅咲きメインでは重ならない)
- ②ソメイヨシノは、てんぐす病に弱い。
- ③ソメイヨシノと開花時期が重なりながら、やや遅れて開花する品種であれば、尾関山のピークを外した観光客も桜が楽しめる。広島市内の桜が散った後でも楽しめる。

# 寺戸桜づつみのメイン品種

## ■主となる桜の提案 「舞姫(まいひめ)」

- ・ソメイヨシノのやや後に開花。(開花時期は重なる)
- ・ソメイヨシノ同様に葉が出る前に開花するため、樹木全体が花で覆われ鑑賞性が高い。
- ・花は淡紅色、八重咲き。
- ・エドヒガン系品種であり病気に強い。成長はやや遅い。
- ・新しい品種であり、県内にほとんど無い。
- ・忠臣蔵「阿久利姫」をイメージできる三次らしい名前。





# 「舞姫(まいひめ)」

写真：（公財）日本花の会



写真：（公財）日本花の会

「舞姫(まいひめ)」



# 寺戸桜つつみのコンセプト

## 阿久利姫舞う寺戸の五色桜

舞姫をメイン品種として、色彩豊かな花色を織り交ぜる。

御衣黄



一葉



鬱金



枝垂桜



普賢象



関山



舞姫



神代曙











写真全て：（公財）日本花の会



# 寺戸桜つつみの構成種

■舞姫をメイン品種として、舞姫と開花時期が前後する品種を混ぜて植え、色彩や花見の時期を広げる。

品種	写真	花色	花の形態	開花時期					本数	備考
				3月		4月				
				4週	1週	2週	3週	4週		
				(参考)広島市内のソメイヨシノの開花時期						
枝垂桜 (シダレザクラ)		淡紅	一重		(参考)尾関山公園のエドヒガン、枝垂桜の開花時期				1本	エドヒガンの枝が枝垂れたもの 尾関山にもあり
神代曙 (シンダイアケボノ)		淡紅	一重		(参考)尾関山公園のソメイヨシノの開花時期				1本	原木は東京の神代植物園 ソメイヨシノ系の品種でてんぐす病への 耐性が高い
舞姫 (マイヒメ)		淡紅	八重						12本	桜の名所づくりに期待される新たな品種 (エドヒガン系)でてんぐす病に強い ソメイヨシノにやや遅れて咲く
一葉 (イチヨウ)		淡紅	八重						1本	東京の荒川堤で栽培されていた品種 花の中にある1本の雌しべが葉化して いることから名付けられた
鬱金 (ウコン)		黄緑	八重						2本	東京の荒川堤で栽培されていた品種 花色がウコンという植物で染めた色(鬱 金色)に似ていることから名付けられた
関山 (カンザン)		濃紅	八重						2本	東京の荒川堤で栽培されていた品種 花色が濃紅色で美しく、成育もよいので 海外でも広く栽培されている
御衣黄 (ギョイコウ)		黄緑	八重						2本	東京の荒川堤で栽培されていた品種 緑黄色の花色が特異なため、古くから 栽培されていたものといわれる
普賢象 (フゲンゾウ)		淡紅	八重						1本	東京の荒川堤で栽培されていた品種 室町時代から知られ、花の一部が普賢 菩薩が乗っている象の鼻に似ており名 付けられた

# 寺戸桜つつみの構成種

## ■舞姫より開花時期が早い品種



**シダレザクラ**  
(尾関山から移植)



**神代曙**  
**ジンダイアケボノ**  
(ツメヨシノの同時期に開花)

# 寺戸桜づつみの構成種

■ 舞姫より開花時期が遅い品種(荒川五色桜の品種)



一葉(イチヨウ)



鬱金(ウコン)



関山(カンザン)



御衣黄(ギョイコウ)



普賢象(フゲンゾウ)



# 寺戸桜つつみの構成種



写真：東京都足立区HP

## 東京「荒川の五色桜」の様子を伝える絵葉書

明治19年(1886)、荒川堤の補修の際、78種、3,200本余りの桜苗が植えられた。ソメイヨシノのほか八重桜が混植され、白や黄色、淡紅色などに彩られ、「荒川の五色桜」と呼ばれた。

江戸時代までに品種改良された多くの桜の品種がここに保持されていたために、荒川堤を発祥地としている桜の品種は数多く存在する。

# 植え付け方法

■ みんなで桜の名所づくりを楽しみませんか

- ① 桜を植穴に立て込む。(あらかじめ植穴が掘ってある状態)
- ② 植穴に、堆肥等を混ぜ合わせた土をスコップで埋め戻す。(水極め)





# 維持管理の方法

## ■みんなで桜の名所づくりを楽しみませんか

- ・三次市が施肥や剪定、除草などの管理を行う。
- ・桜の名所づくりを市民が楽しめるように、作業の際は三次市から案内を出し、桜の維持管理作業に参加できるようにする。

